

# 社会とのかかわり

理想科学は、社会への責任を果たすために、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深め、連携を心がけながらさまざまな活動を行っています。



## お客様の満足のために

### コンテストを通して CEの技術力・サポート力を向上

修理や保守点検に迅速に対応し、より良い印刷環境の提案を担うカスタマーエンジニア(CE)は、理想科学とお客様との信頼関係の要となる存在です。当社では、CEの専門知識・技術力・顧客対応力の向上を目的に「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を開催しています。

2016年1月に第13回全国大会を開催。全国で1,000名を超える参加者の中から地区予選を勝ち抜いた27名が出場し、筆記・機械のトラブルを解決する実技・スピーチの各試験に挑み、スキルを競い合いました。



実技試験の様子

### 安全に製品を使っていただくために SDS(安全データシート)をWebで公開

お客様により安全に製品を使っていただけるように、理想科学ではWebサイトやカタログなどを通じた製品関連情報の積極的な開示を行っています。インクやマスターなど、製品に含まれる化学物質情報やお取り扱い上の注意点などを記載した「SDS(安全データシート)」を2015年度からはWebサイトからも入手いただけるようになりました。

商品分類	対応機種	商品名	SDS管理番号	作成日・改訂日
ORPHIS FW 5231, 5230共通		RISO FWインク F/H ブラック	FWI001J-03	2016.03.01
		RISO FWインク F/H シアン	FWI00CJ-03	2016.03.01
		RISO FWインク F/H マゼンタ	FWI00MJ-03	2016.03.01
		RISO FWインク F/H イエロー	FWI00YJ-03	2016.03.01
		RISO FWインク M ブラック	FWA001J-01	2016.03.01
		RISO FWインク M シアン	FWA00CJ-01	2016.03.01
ORPHIS FW 5230A		RISO FWインク M マゼンタ	FWA00MJ-01	2016.03.01
		RISO FWインク M イエロー	FWA00YJ-01	2016.03.01
		RISO EXインク F/H/S ブラック	EXI001J-02	2015.10.01
ORPHIS EX 9050, 9000, 7250, 7200共通		RISO EXインク F/H/S シアン	EXI00CJ-02	2015.10.01
		RISO EXインク F/H/S マゼンタ	EXI00MJ-02	2015.10.01
		RISO EXインク F/H/S イエロー	EXI00YJ-02	2015.10.01

SDS公開サイト

<http://www.riso.co.jp/company/eco/product/label/sds/>

## Column

### 「理想のTシャツコンテスト」を開催し お客様とのコミュニケーションを 推進しました

「理想のTシャツコンテスト」は、自分にとっての「理想のTシャツ」をデザインし、当社製品のデジタルスクリーン製版機「ゴッコプロシリーズ」を使ってTシャツを制作するコンテストです。応募者自ら自慢のデザインをTシャツに印刷、巡回展示を行って来場者による投票と審査員の評価によって各賞を決定しました。デジタルスクリーン製版機によるシルクスクリン印刷の手軽さや楽しさについて、一般来場者の方ともコミュニケーションを深め幅広く知っていただく良い機会となりました。



「ゴッコプロ100」



巡回展示の様子

作品ギャラリー >> <http://www.riso.co.jp/tcon2015/gallery.html>



## 働きがいのある職場環境をめざして

### 両立支援制度を整備し ワークライフバランスを充実

社員一人ひとりの充実が組織の活性につながるという考えのもと、出産や育児、介護等で勤務時間や勤務内容の変更が必要になった場合でも、仕事と生活の両立ができるよう「育児休業」や「介護休暇」など各種制度を整備し、女性・男性社員ともに安心して仕事ができる環境づくりに努めています。

当社は、2011年に子育てサポート企業としての認定を受け、次世代育成支援企業認定マーク「くるみん」を取得して以降、育児休業の取得や有給休暇取得推進のための意識啓発など行動計画を着実に実施し、その取り組みが評価され、2013年、2015年と継続して更新取得しています。

2015年度は、育児休業制度利用者が40名（うち男性1名）で、延べ3,852日取得しました。育児休業から復職する社員に対しては、仕事と育児を両立するためのポイントや復職後の生活スタイルについて、実際に復職を経験した先輩社員からアドバイスが受けられる「復職支援セミナー」を実施、9名が受講しました。



次世代育成支援企業認定マーク「くるみん」



「復職支援セミナー」の様子

### 行動計画を策定・周知し 女性のさらなる活躍を推進

理想科学は、従業員の多様性を尊重し、性別や国籍などにかかわらず一人ひとりが能力を発揮できる組織風土づくりをめざしています。2016年3月には、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく「行動計画」を策定・社内外に周知し、女性の活躍促進に向けたさらなる取り組みを進めています。

#### 女性活躍推進法に基づく行動計画

女性がいきいきと働き続け活躍するために、次のよう行動計画を策定する。

1. 計画期間  
平成28年4月1日～平成33年4月1日
2. 目標と取組内容・実施時期  
女性社員の平均勤続年数を2021年4月1日時点で15年以上とする

#### 【取り組み内容】

平成28年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性社員向けのキャリア研修を実施する</li> <li>・女性社員の上司へのマネジメント研修を実施する</li> <li>・女性管理職による横断的個別キャリア相談支援を行う</li> </ul>
平成29年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般職から総合職へのキャリア転換促進支援研修を実施する</li> </ul>

### 「特別報奨」制度を通じて 社員のモチベーションを向上

当社では、働く人のモチベーション向上と組織の活性化を支援することを目的に「特別報奨」制度を設け、優れた製品の開発や品質改善などを実現した部署や個人を表彰しています。

2015年に第15回目を迎えたこの制度には、毎年多くの応募が寄せられており、今年は64名が表彰されました。今後も、社員の意欲を引き出せるよう活動を継続していきます。

理想科学について

特集

環境への取り組み

社会とのかかわり

海外での取り組み

マネージメント  
環境マネージメント

Webサイト掲載情報  
第三者審査報告書



## 地域社会の一員として

### 鹿島アントラーズへのサポートを通じ 地域のスポーツ振興を応援

2016年2月、理想科学の製造や開発の中心拠点がある茨城県の鹿嶋市を本拠地とするプロサッカークラブ「鹿島アントラーズ」と、2016年シーズンのクラブオフィシャルスポンサー契約を結びました。

ユニフォームシャツやホームスタジアム看板などへの企業ロゴマーク掲出をすることで、当社ブランド価値の向上をはかります。応援を通じて茨城県のスポーツ振興と地域活性化に貢献していきます。

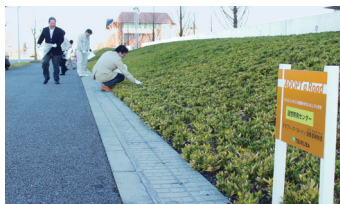


© Kashima Antlers

### 「道路の里親」として、 清掃や除草活動を実施

理想開発センターは、所在地である茨城県つくば市が開発している「道路の里親」制度に参加しています。この制度は、事業所周辺の市が管理している道路を市に代わって清掃や除草、花壇の手入れを行うものです。

2013年11月の参加以来、歩道の清掃活動を継続的に実施するなど「里親」として沿道の美化と環境保護に貢献しています。



理想開発センター周辺の市道清掃

### 企業市民として地域に根差した 社会貢献活動を展開

#### ●大雨水害の災害ボランティアに参加

2015年9月、台風18号などの大雨による水害で大きな被害を受けた茨城県常総市の被災者支援を行うボランティアに当社社員3名が参加。床上浸水した家屋で畳の取り外しや泥水の除去などを実施しました。

#### ●「しづやの日」一斉清掃に協力

渋谷区では、毎年4月28日を「しづやの日」と定め一斉清掃を行っています。理想科学では7年前より渋谷支店の社員が一斉清掃に協力しており、2015年度も2名の社員が参加しました。



清掃活動の参加者

#### ●義援金の寄付を通じた地域貢献

2015年度は、国内外で起こった大規模な被害を受けた被災地の復興と被災者支援を目的に、理想科学として義援金の寄付を行いました。

- 2015/5/15 ネパール地震災害に対して
- 2015/9/24 台風18号等による大雨災害に対して
- 2016/4/27 熊本地震災害に対して

## Column

### 箱根駅伝の号外印刷に 「オルフィス」が活用されました

2016年1月、第92回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)において、レース結果を速報する号外の印刷に理想科学の高速カラープリンター「オルフィス」が活用されました。大会を共催する読売新聞社と協力し、現地で号外の記事を編集し、その場で「オルフィス」によって素早く印刷。往路と復路それぞれのゴール付近で観戦していた多くの方々に速報として配布しました。



ゴール付近で配られた号外